

島浪かへる

(大正三年桜星会歌)

木原均君 作歌
岩崎直砥君 作曲

一

島浪^{しまなみ}かへる北^{ほくめい}溟^{めい}さして
石狩^{いしかり}の水^{みづ}末^{すゑ}遠^{とほ}く
霞^{かすみ}のあな^なた流^{なが}る、郷土^{くど}に
あけく^{まな}れなれし我友^{わがとも}の
學^{まな}びに集^{つど}ふ楡影^{ゆえい}の庭^{には}に
絢爛^{けんらん}の春^{はる}またおとづれぬ

二

春陽^{しゅんよう}のもと下^{した}萌^もえそめて
遙^{はる}かなるかな我思^{われおも}ひ
無相^{むそう}の智慧^{ちゑ}を追^おひ求^{もと}めつ、
無明^{むみょう}の闇^{やみ}をわけ入^いりて
生命^{いのち}の流^{なが}れ深^{ふか}くも進^{すす}む
雄々^{をを}しき學徒^{がくと}こ、北^{きた}にあり